

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

愛媛県内において、8月27日時点で報告された新型コロナウイルスの感染者は114名となっています。引き続き県民の皆様にはマスクの着用やこまめな換気と手洗いを心がけ、『うつらないよう自己防衛！ うつさないよう周りに配慮！ 習慣化しよう3密回避！』の実践をお願いします。ここ数週間は厳しい暑さが続き、マスク着用により熱中症のリスクが高くなっています。屋外で人と十分な距離を確保できる場合はマスクを外し、熱中症予防を心がけましょう。なお、新型コロナウイルスの感染が疑われる症状がある場合は「帰国者・接触者相談センター(089-909-3483)」に連絡してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ⇨



発生動向の概況

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第33週2.0人から第34週2.4人に増加しました。8月24日から細菌性食中毒注意報が発令されています。調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。また、患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン(エプロン)手袋、マスクを着用しましょう。

梅毒の届出が3例ありました。2020年の県内の届出数は39例となり、感染症法が施行された1999年以降最多となった昨年と同程度のペースで増加しています。この疾患の原因菌は梅毒トレポネーマで、大部分は性行為により感染します。感染予防に対する正しい知識を持つとともに、早期発見のため、不安のある方は県内各保健所で実施している電話相談や無料・匿名検査をご利用ください。また、梅毒に感染したと分かった場合は、周囲で感染の可能性のある方(パートナー等)にも検査を勧め、必要に応じて一緒に治療を行うことも重要です。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

二類感染症 : 結核 4例

五類感染症 : アメーバ赤痢 1例(60歳代男性)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4例(70歳代男性2例、70歳代女性1例、80歳代女性1例)

急性弛緩性麻痺 1例(10歳未満女性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2例(50歳代男性、90歳代男性)

梅毒 3例(10歳代男性1例、40歳代男性2例、2020年県内累計39例)

指定感染症 : 新型コロナウイルス感染症 6例(男性:4例、女性:2例)

*その他、第32週分として結核1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例(80歳代男性)、新型コロナウイルス感染症2例(男性1例、女性1例)の届出がありました。

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 0.6	増加。
感染性胃腸炎	↗ 2.4	増加。
突発性発しん	↗ 0.8	増加。

解析評価委員のコメントから

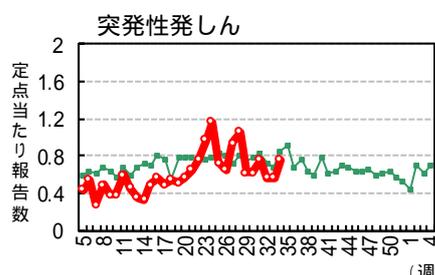
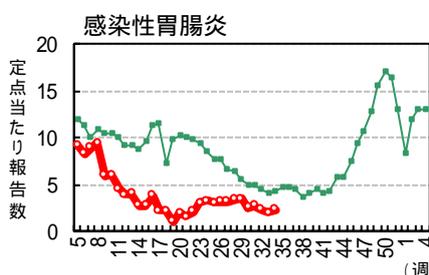
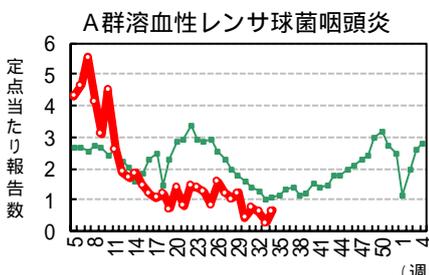
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : [東予] やや増加で、たまにみられます。 [中予] 増加しています。

感染性胃腸炎 : [東予] あまり多くないですがみられます。 [中予] 増加しています。

[南予] 少数発生は続いています。増加傾向ではないようです。

突発性発しん : [東予] みられています。 [中予] 横ばいです。

過去30週の動向 (: 過去30週の動向、 : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。

感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

感染症流行予測調査事業の1つであるブタの日本脳炎ウイルス抗体調査の結果を右表に示しています。8月17日採血分のブタのHI抗体陽性率は40%（10例中4例）でした。また陽性の4例全てが最近の感染を示す2ME感受性抗体でした。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況

採血月日	検査頭数	HI抗体陽性数 ¹⁾	2ME感受性抗体 ²⁾	
			検査件数	陽性数
7月 7日	10	0	-	-
7月 13日	10	7(70%)	7	1
7月 28日	10	0	-	-
8月 4日	10	0	-	-
8月 17日	10	4(40%)	4	4

1) ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。HI抗体価が1:10以上を陽性としました。

2) 最近感染したかどうかわかります。検査はHI抗体価が1:40以上の検体について実施します。

第32週に松山市で採取されたA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者検体からA群溶血性レンサ球菌が1例検出されました。T血清型別はT1型でした。

過去5週 検出病原体

(2020年7月20日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
32	8/3~8/9	松山市	A群溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検体採取月		2020						合計
検出病原体		3	4	5	6	7	8	
ウイルス	インフルAH1pdm09	1						1
	アストロ	2						2
	アデノ	1						1
ウイルス計		4						4
細菌	A群溶レン菌	1				1	1	3
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌				1			1
細菌計		1			1	1	1	4

臨床診断別検出結果 (2020年6月以降採取検体)

検出病原体	A群溶連菌咽頭炎	細菌性髄膜炎	合計
A群溶レン菌	2		2
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌		1	1
細菌計	2	1	3

注) 表中の検出数は8月25日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。

咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2020年 第34週 (2020.8.17 ~ 8.23)

	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点										
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)			
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			インフルエンザ(入院)		
患者報告数																										
保健所別	四国中央				1		11	1						2	-	-									四国中央	
	西条				3	3	20	2				9	1			1									西条	
	今治				2	1	6	2				5	3			2									今治	
	松山市				1	8	44	1	2			7		3		1		-	-	-	-	-	-	-	松山市	
	中予					10	3					6													中予	
週推移	八幡浜					2				1	1	1			1										八幡浜	
	宇和島						4																		宇和島	
	愛媛県				7	24	88	6	3		28	5	5		5										愛媛県	
	1週前				1	2	10	73	3		21	4			4										1週前	
2週前				1	4	23	87	8	1	1	21	7	4		9										2週前	
3週前				1	3	28	103	10	5	3	28	1	2		10								1		3週前	
年齢別	0-5ヶ月						1																		0	
	6-11ヶ月						5				7	1													1-4	
	1				2	2	9				15	3	1												5-9	
	2				3	6	9				3	1													10-14	
	3						7				2		2												15-19	
	4				1	2	7				1														20-24	
	5					2	7	2						1											25-29	
	6					3	6		1						1											30-34
	7					1	2																			35-39
	8					2	6		1																	40-44
	9					1	4		1																	45-49
	10-14				1	4	18	4								1										50-54
	15-19					1	2									1										55-59
	20-29 ⁵⁾						5									1										60-64
30-39																									65-69	
40-49															2										70-	
50-59																										
60-69																										
70-79 ⁶⁾																										
80-																										

定点当たり報告数

保健所別	四国中央	-	-	.3	3.7	.3				.7	-	-													四国中央	
	西条	-	-	.5	.5	3.3	.3			1.5	.2				1.0										西条	
	今治	-	-	.4	.2	1.2	.4			1.0	.6				2.0										今治	
	松山市	-	-	.1	.7	4.0	.1	.2		.6		.3			.3											松山市
	中予	-	-		2.5	.8				1.5																中予
愛媛県	八幡浜	-	-		.5			.3		.3	.3			1.0												八幡浜
	宇和島	-	-			1.0																			宇和島	
愛媛県	-	-	.2	.6	2.4	.2	.1		.8	.1	.1			.6											愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は8月26日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2020年 第32、33週 (2020.8.3～8.16)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎	
愛媛県		.0	.1	.6	2.4	.2	.0	.0	.6	.2	.1		1.1						
近畿 県	香川県	.0	.6	.5	2.9	.1	.1		.4	.2						.2	.2		
	徳島県		.2	.4	2.5	.2	.1		.6										
	高知県		.8	.6	1.3	.1	1.0	.2	.3	.1	.2			.1					
32週	全 国	.0	.0	.2	.6	1.8	.1	.2	.0	.5	.7	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.1	.0
週	北海道			.3	.6	.7	.1	.1	.0	.3	.0	.0		.4		.0	.0	.0	.0
	東北		.0	.2	.7	1.3	.1	.2	.0	.6	.1	.0		.3		.0	.0	.2	
	関東		.0	.1	.5	1.6	.1	.1	.0	.5	.1	.1		.3		.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸		.0	.2	.7	1.9	.1	.2	.0	.4	.2	.0		.2				.1	
	東海		.0	.1	.4	1.6	.1	.1	.0	.4	.0	.0	.0	.0		.0	.0	.1	
	近畿		.0	.1	.4	1.7	.1	.1	.0	.4	.2	.0		.1	.0	.0	.0	.1	
	中国四国		.0	.3	.6	2.3	.1	.3	.0	.5	.5	.0		.3	.0	.0	.0	.1	
	九州沖縄	.0	.2	.3	1.5	2.5	.2	.4	.0	.6	4.6	.0		.2		.0	.0	.1	

(8.12集計)

愛媛県		.0	.1	.3	2.0	.1			.6	.1			.5					
近畿 県	香川県	.0		.4	.4	3.0	.2	.2	.3	.3	.1							
	徳島県		.0	.1	.3	1.3	.0	.0	.5	.0	.0						.2	
	高知県			.5	.5	.9	.3	.4	.1	.3	.1	.0				.1		
33週	全 国	.0	.0	.1	.4	1.1	.1	.1	.0	.3	.4	.0	.0	.1	.0	.0	.1	.0
週	北海道	.0		.3	.4	.4	.1	.1	.0	.2	.0	.0		.2			.1	
	東北			.1	.3	.8	.1	.1	.0	.3	.0	.0		.2		.0	.0	.1
	関東	.0		.1	.3	1.0	.1	.1	.0	.3	.1	.0		.2		.0	.0	.0
	甲信越北陸		.0	.1	.3	1.3	.1	.1	.0	.4	.1	.0		.1		.0	.0	.0
	東海		.0	.1	.2	.8	.1	.0	.0	.3	.1	.0	.0	.1			.1	
	近畿	.0		.1	.2	1.0	.1	.1	.0	.3	.1	.0		.1	.0	.0	.2	
	中国四国	.0	.0	.2	.3	1.7	.1	.2	.0	.3	.3	.0		.1	.0	.0	.0	
	九州沖縄		.1	.2	.9	1.6	.1	.3	.0	.4	2.4	.0		.2		.0	.0	

(8.19集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

